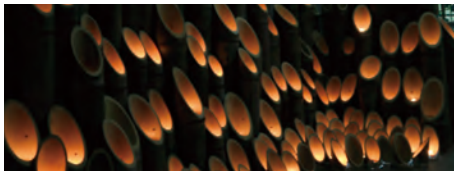




幻想的な光に 包まれました



8月5日、JR海老津駅周辺でえびつかぐや灯籠まつりが催されました。矢矧川沿いには、町内の小学生が作った紙灯籠が点灯。来場者は美しい光や個性あふれるイラストに見入っていました。また、メイン会場では、ダンスや歌、手品などが披露され、多くの人の笑顔があふれていました。

また、情報プラザ人の駅の広場や地域交流センターでは、岡垣国際交流協会のワールドレストランやこどもイベントなども催され、会場周辺は活気に包まれました。

編集後記

▼今回の特集で、西鉄バス波津線を利用して見る方に話を伺いました。その中で「バスがなくなったら暮らしていけない。自然が豊かでないところだけど、引越すしかない」とはっきり言われたのが印象的でした。学生も、だれもが車で送り迎えをもらえるわけではありません。今は車に乗ることができても、車の無い生活をみんなが自分事として考える必要があると、強く感じました。(廣渡)

▼住人十色などのコーナーの取材をしているといつも思っていますが、皆さん趣味をたくさん持っています。もともと趣味が少ない私ですが、皆さんの話を聞いて興味を持ち、実際に登山やサーフィンを試みたことがあります。季節はもうすぐ秋です。今年は何か趣味を見つけて、充実した日々を過ごしたいと思えます。(三藤)